

安全な作業のために



活動される皆さんが安全に作業できるよう、**必ず守って欲しいこと**をまとめました。何卒、安全な作業をお願いします。

- **保護具を装着**する。
ヘルメットや防護めがね、スパイク付き長靴、安全靴などを装着。
ため池での作業は、浮き輪等を用意。
- **無理な作業はしない**。
危険な箇所（急傾斜地、窪地、段差、電線、蜂の巣など）を事前に確認しておく。
- **作業は複数名で行う**。
いざという時に迅速に対応できるように。
- **こまめに水分・塩分補給、休憩**を取る。

詳しくはこちらから



「安全のしおり」

保護具や熱中症対策グッズなど安全な作業に必要なものは、交付金で購入可能だよ。

保険の加入も忘れずにね。



《草刈作業の留意点》

- 刃の跳ね返りによる事故を防止するため、**障害物は事前に除去するか、その周辺は鎌等で草刈りする**。
- **作業員同士の間隔は5 m以上確保**し、接触事故を防止する。
(飛び石も危険なため、15m以上離れるのが理想です。)
- **刃に草等が詰まった際は、エンジンを切ってから取り除く。**
また、移動時もエンジンを切る。

あ、防護メガネかけよう



刈払機の使用に不慣れな人へ事前に安全な使用方法を伝えよう。

金属刃よりナイロンコードが安心だよね！

実際に発生した事故（全国）

- 水路を飛び越えようとしたところ、飛び越え切れず、バランスを崩し背中を強打。**背骨・肋骨骨折。**
- 水路で後退しながら草刈していたところ、集水柵に転落。**打撲。**
- 草刈機の刃に草が絡まり、エンジンを切らずに除去しようとしたところ、刈刃が回転。指を**切創。**
- 草刈り中、刃が跳ね返り、左足小指を付け根から**切断。**
- 草刈機の刃が木に接触し跳ね返され、近くにいた作業員の右大腿部に接触。20cm程度**裂傷。**
- 2人で草刈り作業中、お互いが振り向いた際に、片方の構成員の草刈り機が、もう片方の構成員に接触。ふくらはぎ**創傷。**
- 草刈機のエンジンをかけたまま移動中、別の作業員の足に刃が接触。
- ため池の草刈り作業中、1人が誤ってため池に転落、救助を試みたもう1人も誤って池に転落。**2人死亡。**
- 軽トラック運転中に熱中症で意識を失い、道路から畑に横転。**骨折。**

「自分は大丈夫」と思わず、気を付けて作業をお願いします。

作業する全員で声を掛け合い、事故防止に努めていただきますようお願いいたします。

このチラシは、回覧をお願いします。

愛知県農地水多面的機能推進協議会

